

NHL 濾胞性リンパ腫・マンテル細胞リンパ腫 再発 R-FCM

患者ID: @PATIENTID

コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 28日間

目標: 4コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Do	#VALUE!

使用薬剤: リツキシマブ (Rituximab): リツキシマブBS注 100mg/10mL/V、500mg/50mL/V

フルダラビン (F-ara-A): フルダラ注 50mg

シクロホスファミド (CPA): シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V

ミトキサントロン (MIT): ミトキサントロン注 10mg/5mL/V、20mg/10mL/V、

使用基準: CD20陽性のB細胞性非ホジキンリンパ腫

※ **Infusion reaction**に要注意。リツキシマブBS投与時はモニターによるバイタルチェックを推奨。

重度のInfusion reaction(低酸素血症、肺浸潤、急性呼吸促拍症候群、心筋梗塞、心室細動、心原性ショック)

の発現の報告が**初回の投与中又は投与開始後24時間以内**に多い。約90%の患者で初回投与時に発現。

※ **腫瘍崩壊症候群**に要注意(血液中に大量の腫瘍細胞のある患者で初回投与後24時間以内に高頻度)

腎不全、高K血症、低Ca血症、高尿酸血症、高Al-P血症

※ Hbc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと

※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍(PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
リツキシマブBS	375 mg/m ²	#VALUE!		1
ミトキサントロン	8 mg/m ²	#VALUE!		1
シクロホスファミド	200 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 3
フルダラ	25 mg/m ²	#VALUE!		1 ~ 3

<< タイムスケジュール >> **リツキシマブBS、FCMの開始時刻を別々に入力してください**

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月7日 (金)

点滴前内服

- ① カロナール錠 200mg 2T 1x (1)
- ② ポララミン錠 2mg 1T 1x (1)

0時00分

- ① 生理食塩液 100mL + サクシゾン 300mg
30分で点滴静注

0時30分

②	5%ブドウ糖液	0mL
+	リツキシマブBS注	0mg 0.0mL

↓ 50mL/hrで30分点滴静注

↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に50mL/hrずつ上げることができる

↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

徐々に投与速度を上げて点滴静注

※下記は2回目以降の投与

↓ 100mL/hrで30分点滴静注

↓ 患者の状態を観察しながら、30分毎に100mL/hrずつ上げることができる

↓ 最大400mL/hrまで上げることができる

③ 生理食塩液 50mL

フラッシュ

<< タイムスケジュール >>

1月7日 (金)

0時00分	①	生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	+	グラネセロン 1 A		
0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	+	フルダラ注	0mg	+ 注射用水 20mL (溶解用)
0時45分	③	生理食塩液 250mL 4時間で点滴静注	+	シクロホファミド注	0mg	
4時45分	④	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	+	ミトキサントロン注	0mg	
5時15分	⑤	生理食塩液 50mL フラッシュ				

1月8日 (土) ~ 1月9日 (日)

0時00分	①	生理食塩液 50mL 15分で点滴静注	+	グラネセロン 1 A		
0時15分	②	生理食塩液 100mL 30分で点滴静注	+	フルダラ注	0mg	+ 注射用水 20mL (溶解用)
0時45分	③	生理食塩液 250mL 4時間で点滴静注	+	シクロホファミド注	0mg	
4時45分	④	生理食塩液 50mL フラッシュ				

REFERENCE

Roswitha Forstpointner, Martin Dreyling, Roland Repp, et al. Blood. 2004;104:3064-3071
The addition of rituximab to a combination of fludarabine, cyclophosphamide, mitoxantrone (FCM) significantly increases the response rate and prolongs survival as compared with FCM alone in patients with relapsed and refractory follicular and mantle cell lymphomas : results of a prospective randomized study of the German Low-Grade Lymphoma Study Group
2011年4月度化学療法プロトコール審査委員会承認 : 2011年4月11日 更新: 2018年9月10日